

## バス乗り運動にも協力 紅葉の稲倉山で清掃登山



▲ 清掃登山に参加した人たち — 山頂にてハイ、ポーズ —

甘楽町山の会（井上理事局長）主催の「稲倉山清掃登山」が、十月二十七日行われ、空き缶を拾ったりしながら、紅葉の稲倉山ハイキングを楽しみました。

当日は、町内外から家族連れを中心にして三十人が参加して廃止寸前の危機に迫り込まれている路線バス（富岡一郡頂線）の存続運動にも協力。山の清掃奉仕ばかりでなく、赤字路線バスの乗車密度引き上げにも一役買ってもらいました。

参加者は、暗れわたった青空の下、標識の掃除をしたり、登山客が投げ捨てた空き缶やゴミをビニール袋に拾い集め、「山の自然を大切にしよう」と行き交う人々に呼びかけました。

## 豆剣士がゴミ退治

藤川 小幡剣道スポーツ少年団  
を清掃

小幡剣道スポーツ少年団（代表・新井惟子さん）による藤川裏のクリン作戦が九月八日、父兄や子供たち八十二人が参加して行われ、空き缶やゴミを一掃しました。



▲ 塚に入って、空き缶などのゴミを拾う子供たち

藤川下高尾、小幡線は交通量も多いだけに、塚の周辺にはドラハイが投げ捨てた空き缶がゴロゴロ。熱心な豆剣士らは、塚の中のゴミはもちろんだ、塚裏木下の枯れ葉や枯

れ草なども退治。二時刻ほどで軽トラフック五分分のゴミを拾い集めました。

● 地元第一区 山田邦昭区長  
● では、住民が毎日交代で水踏内のゴミあげを行っています  
● が、この八月からは、第二区（佐藤寛三区長）住民も清掃に加わり、全戸集めて貴重な文化遺産。藤川裏の空気に努めています。